

# なすび

第33号

目次

- 1 p 年度末を迎えて
- 2 p~4 p 行事報告
- 4 p 部活動報告

栃木県那須学園  
〒329-2132  
矢板市沢800  
TEL 0287-43-0573  
FAX 0287-43-6886  
メール nasu-gakuen  
@pref.tochigi.lg.jp  
発行日 令和2年3月16日

## ～年度末を迎えて～

令和元年度ももうすぐ終わりを迎えようとしています。今回は那須学園での一年を振り返ってみました。

### ◎一年を振り返って

園長 益子 浩

寒さに耐え甘みを増すほうれん草も青々と葉を伸ばしており、まだ二月というのに作業をしています。汗ばむような日が続いています。暖かいことや雪の降らないことで生活はしやすいですが、これから作付けする学園の畑作や稲作がどうなるのか心配でもあります。もうこの時期にあちらこちらで芝桜が咲き始めていますね。

那須学園に赴任して一年が経とうとしています。年度当初は十五名だった児童も現在は二十九名に増え小学生四名、中学一年生四名、中学二年生十名、中学三年生は十一名という状況になっています。一緒に生活しながらお互い切磋琢磨して成長してきた仲間も学年進行に伴ってもう直それぞれの進路に向かって進んで行くことになりました。毎日休むことなく「朝は希望に起き、昼は努力

に生き、夜は感謝に眠る」営みが続けられ那須学園の月日は流れていきます。

今年度を少し振り返ってみることにしたいと思います。まず学園の一大イベントは田植えです。今年は一ヘクタールの学園田に那須ひかりとコシヒカリを作付けしました。大嘗祭に供納された米は栃木県が生んだ「とちぎの星」という品種で、同じ塩谷郡内の高根沢町の斉田で栽培されました。栃木は米所であり、明治四十一年、この地に那須学園が感化院として創立して以来、作業指導の中心として稲作に取り組んでいます。学園内を流れる山田用水は箒川の上流地点である矢板市山田の堰から取水し山田地区や那須学園のある沢地区、その下流の豊田地区に貴重な農業用水を送り続けています。水不足で田植えの準備の遅れた地域もありましたが先人の残してくれた用水から必要な水を引き五月には無事に田植えを終えることができました。田植えの後のご苦労さん会では年に二回しか食べられない学園ラーメンをほおばりながら、七月下旬には真っ白な稲の花を見ようと五風十雨をみながら祈りました。時々、自

分の子どもの頃、家の稲作や葉たばこ栽培の手伝いが大変だったことを懐かしく思い出します。何十年も経ってその経験が役に立つとは思ってもみませんでした。学園の稲作は指導の一環なので刈り取った稲はすべてはぎ掛け天日干しといった具合に昔と変わらない地域の伝統的な農法で行っています。さて、本来なら七月には梅雨が明けてガラガラと夏の太陽が照りつけるはずがいつまでも前線が停滞し開花は大幅に遅れてしまい、茎ばかりが伸びて倒れやすい稲となってしまいました。あいにく台風にも見舞われ、ほとんどが倒伏してしまい、それでもみんな得手袋の先に穴があくほど作業をして十二月初旬にやっと新米を味わうことができました。

☆矢板たかはらマラソン  
陸上部男子の最初の大会は、矢板たかはらマラソンでした。ある生徒の日記には「大会前日、ワクワクとドキドキで楽しみで、当日の朝はすぐはやく起きてしまい、余り眠れなかったです。省略 大会では、学園の中で二番目にゴールをし、自己記録が出ました。次の大会もがんばりたいです」と書いていました。こ



## ☆行事報告☆

てもらいました。心から感謝しております。  
このなすびが発刊される頃には卒業生を送る会が行われ、那須学園々歌が施設内に響き渡っていると思います。子ども達には夢や希望を持って自分の気持ちを大切に前向きに生きていってほしいと願っています。

の生徒は、運動能力が高いものの、一生懸命に何かに取り組むということから逃げてきた子で、今まで本気でやり続けるということをしてきませんでした。この大会での本気の経験を練習で活かし、心身ともに成長し、次に繋げていきたいと思えます。

### ☆矢板市駅伝大会

十一月六日

那須学園陸上部は矢板市駅伝大会に初出場しました。参加資格が中学生以上のため、小学生部員はマネージャーや応援役として参加。中学生と職員がチーム一丸となって走りました。中学生と一般が同じ出場枠だったにも関わらず、見事に男子チームは三位と区間賞という成績を収めることができました。

個人の戦いとなるマラソンと違って、一つのタスキをつないで走り、出番の子を必死に応援しながらチームとして一緒に戦う駅伝は、子ども達にとっても貴重な経験になったと思います。



### ☆収穫感謝祭

十一月二日

今年度も秋のイベント、収穫感謝祭を行いました。今年も学園の田んぼで育てた餅米を使って餅つきを行いました。学園では春に素足で直接田んぼに入って苗を植えて、夏には草取り、秋には育った稲を刈り、はざ掛けを行い、児童、職員が全員でお米を作っています。餅つきは初めて経験する児童ばかりで悪戦苦闘の展開でしたが、最終的にはつやつやとした美味しいお餅がつき上がりました。

当日のイベントに協力して下さい、日頃から美味しい食事を作ってくれている食堂棟の調理員さんや、学園の田んぼや畑を管理して野菜を育て

てくれている農場担当者へ感謝の気持ちを感じるとともに、食べ物の有り難みも感じられた一日となったことでしょう。

### ☆関東少年文化祭

十一月二八日

関東少年文化祭に那須学園吹奏楽部として参加し、「宇宙戦艦ヤマト」と「3月9日」の二曲を演奏しました。初心者軍団として始まった吹奏楽部でしたが、多くの方に聴いていただくための演奏を目指して一生懸命練習してきました。本番は皆緊張していましたが、心を一つにして演奏できたと思います。

他施設の多様な芸能発表を鑑賞することも、子ども達にとって貴重な経験になりました。ディアポロをやりたい、けん玉の技が凄い、パイレーツオブカリビアンを吹奏楽で演奏したい、など、他施設の発表に影響を受けた前向きな感想が子ども達から多くあがっていました。受けた刺激を吹奏楽部に生かしていきたいです。素敵な文化祭でした。

### ☆しおや湧水の里マラソン大会

十二月八日

去る十二月八日、しおや湧水の里マラソン大会(小学生男女2km、中学生女子3km、中学生男子5km)が行われました。この大会は地域のマラソン大会でありますが那須学園陸上部にとっては活動のまとめである最後

の大会となっています。この大会に向けて部員達は、様々な工夫を凝らした練習メニューのもとで毎日、頑張ってきました。しかし入所間もない児童は、なかなか頑張りきることができなく逃げ腰となり回避行動のオンパレードでありました。それでも心をつくるための心の練習メニューと職員との密な関わりの甲斐あって、その部員とともに全力をだすことができました。また心の練習メニューが効き過ぎたせいか今では、その児童は「僕はもう完璧にできています」と自信満々になっています・・・。



### ☆関東少年卓球大会

十二月三日

今年の卓球部は八名でのスタートとなりました。例年ですと、何名かの経験者が残っていて、その子達を中心とする活動となっていたのですが、今年は昨年度の経験者が一人、

そして卓球経験者も一人しかいないという状況でのスタートとなり、正直に言ってしまうと「今年は難しいかな」と思っていました。しかし、いざ卓球部が始まると、その初心者達が一生懸命に練習に取り組んでくられて、本当にメキメキと力をつけて行くのがわかりました。その結果として、大会でも見事に予選リーグを突破！残念ながら決勝トーナメントは一回戦で惜しくも敗れてしまいましたが、最後まであきらめずに戦ったということ子ども達には誇りに思ってもらいたい、そう思えた大会でした。



### ☆クリスマス会

一二月二日

今年最後を締めくくる行事、クリスマス会を実施しました。各寮の出し物や関東少年文化祭で披露した吹奏楽を、参加した保護者や各関係機関の方々に発表しました。各寮の出し物は全寮とも劇で、どの寮の子ど

も達も全員で協力し、恥ずかしがることなく演じ、会場を盛り上げてくれました。吹奏楽では「宇宙戦艦ヤマト」、「3月9日」を披露し、盛大な拍手をいただきました。各寮長サントからプレゼントの配布も行い、子ども達は「自分のプレゼントはまだか」と身を乗り出して待っている姿はかわいらしかったです。今後とも子ども達を応援してくれる関係機関の方や離れて生活している保護者となぐ良い機会にしていきたいと思えます。



### ☆席書大会

一月八日

令和二年最初の登校日、分校において席書大会が行われました。決意

の言葉を選び、作文を書いて発表の練習をするのはもちろん、習字道具の使い方から後片付けの仕方まで、一ヶ月前から準備をしてこの日を迎えた子ども達。当日は、緊張しながらも立派に大会に臨むことができました。

今年度の最優秀賞作品は「公平無私」。他に、優秀賞と特別賞四点が選ばれました。どの子どもも、自分についてしっかりと振り返り、前向きな決意を発表することができました。素晴らしい一年のスタートになり、係としてほっとしています。

### ☆スキー教室

一月一日・一七日

学園では毎年一月に二回スキー教室に行っています。那須学園からスキー場までは約1時間。普段は遠くに眺めている山に到着すると、辺り一面の雪景色と、今年は二日とも晴天にも恵まれ、青い空と澄み渡った空気で遠くの間々まで見渡せました。吹雪などもなく、気持ち良くスキーができました。子ども達はインストラクターさんに、丁寧に一から教えていただき、最初はできなかった子どもも、スキーの基本的な動きは全員ができるようになり、班の中には上級者コースに挑戦できたところもありました。大きな怪我もなく安全にでき、スキーの楽しさを感じられ、「また行きたいな」の言葉が多く聞かれたスキー教室になりました。

### ☆立志式

二月四日

二月四日の立春の日に立志式が行われました。二年生の生徒七人が将来の夢や目標を発表しました。生徒の中には、具体的にになりたい職業を挙げ、そのためにどのような進路をとりたいかまで述べることでできていました。入所した頃は、将来に悲観的であったり、目標を見失ってしまったりした生徒もいた中で、全員が立派に自分の考えを発表でき、成長のあとがうかがえました。進路選択の時期となる三年生になるための準備として、大変良い機会になったと思います。有言実行を目指し、成長を期待したいです。

### ☆栃木県児童福祉施設文化祭

二月二日

栃木県内の児童福祉施設が集まり、それぞれの施設で練習してきた出し物を披露しました。学園は今年も吹奏楽の演奏で、今まで練習してきた三曲「宇宙戦艦ヤマト」、「3月9日」「君の瞳に恋してる」を披露しました。今まで練習してきた成果を發揮できる、最後の大きなステージでしたが、全員で心を込めて演奏できたと思います。展示の部では、新年の最初に各自が考えて自分で選んだ言葉をしたためた書道を掲示し、たくさんの方に見ていただきました。他の施設の様々な出し物や展示作品を

鑑賞し、楽しく時間を過ごすことができずことができました。多くのサポーターのなか、温かく和やかな雰囲気で行われる施設文化祭に参加することができ、充実した1日になりました。

## ☆園内マラソン大会

二月七日

今年度のマラソン大会は昨年度までとコースを変更し、完全に園内の敷地内での実施となりました。当日は天候にも恵まれ、風も弱く、絶好のマラソン日和の中での開催となりました。生徒達は、これまでのマラソン部の活動を通して培った体力と気力を存分に発揮し、ほとんどが新記録となるタイムを出して走りきることができました。どの生徒も自分に負けずに頑張りきった達成感と安心感をのぞかせていました。「走る」という、きつさもある活動に対し、一生懸命取り組んでくれた生徒達のエネルギーの大きさを改めて見ることでできた行事となりました。これでマラソン部の活動も終わりになりますが、次の部活動でも一層の活躍を見せてもらいたいです。

## ☆部活動報告☆

### ☆吹奏楽部

六月から指導した吹奏楽部も、二月の栃木県児童福祉施設文化祭で集大成を飾り、九ヶ月間の活動の終

わりを迎えました。子ども達からの感想を紹介します。

「最初は吹けなかったけど、ずっと先生と練習して吹けるようになって「音がきれいに出るようになってから、曲が吹けるようになって、合わせられるようになったのが嬉しかった」「すごく楽しかったけど、最初の方で練習をサボってしまったので本番で音がうまく出せなかったから、もつと練習しておけばよかった」「いつかまた合奏してみたい」

前向きな感想が多くて安心しました。子ども達も大人達もお疲れさまでした。

### ☆マラソン部

マラソン部では、「挨拶・返事・整理整頓」を軸に、各生徒が自分の記録を伸ばすため、そして寮毎のチーム全体で向上できるように日々活動を行いました。活動の期間は短かったですが、回をこなすことにタイムが縮まっていき、日々目標を高く設定しながら走ることができました。最後の反省会では、「自分に負けずに走ることができた」「あきらめずに取り組むことの大切さがわかったのだからこの後の活動でも続けたい」といった前向きな感想が多く見られました。マラソン部を通して学べた、挑戦する気持ちや、苦しいことを乗り越えた後の達成感、そして、個人種目であってもチームで励まし合うことでより大きな力が発揮できることをこ

の後の生活に活かして行ってほしいです。

### ☆野球部

野球部が二月中旬からスタートしました。昨年度は惜しくも初戦敗退で悔しい思いをしました。その悔しさをバネに「今年こそは全国大会出場！」と意気込むまでは良かったのですが…。経験者がいない今年のチームはまだまだそのレベルまではほど遠い状態です。毎日、基本動作の反復練習や野球部の一員である(チームの一員である)自覚をもたせる練習ばかりを行っています。

野球部の活動は七月上旬の関東少年野球大会まで続きます。活動を通して、仲間の大切さや集団スポーツの難しさ、楽しさなどを感じさせたのと考えています。単に運動の上達を目的とせず、人としての成長に繋がられたらと思います。監督の私も野球部の活動最終日まで、子ども達と共に泥だらけになって白球を追いかけて行きたいです。

### ☆バレーボール部

バレーボール部は女子寮児童職員全員で取り組んでいます。今回もテーマはやっぱり「元気よく声を出そう」「マイナス発言なしで前向きに頑張ろう」です。部活が始まるとアツプではみんなでかけ声をかけてランニング。丁度グラウンドからは、野球部のかげ声が聞こえてきます。体育

館からも負けじと元気に声を出しています。バレーで大切なのはチームワークです。お互いに声を掛け合い、励まし合い、自分中心よりも周りの事を考えたプレーで、まわりから応援してもらえようなチームを目指します！来年度の関東女子バレー大会は、那須学園担当の栃木県開催です。お・も・て・な・しの心で大会を盛り上げられるよう、色々な準備も頑張ります。もちろん目標は優勝です。



### 編集後記

記念すべき令和元年度、大雨や新型ウイルス等、色々なことがありましたが、子ども達も職員も駆け抜けました。来年度も皆で頑張っていきたいと思います。

本年度も様々なご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。今後とも子ども達にあなたがかいご声援をよろしくお願いいたします。

育成課

石口・中島・竹原